

## IUCN・環境省レッドリストカテゴリー説明

CR(Critically Endangered)=絶滅危惧 I A 類

: ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

EN(Endangered)=絶滅危惧 I B 類

: I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU(Vulnerable)=絶滅危惧 II 類

: 絶滅の危険が増大している種。現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続いて作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの

NT(Near Threatened)=準絶滅危惧

: 存続基盤が脆弱な種。現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

## 鹿児島県レッドリストカテゴリー説明

絶滅危惧 I 類

: 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、県内において近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧 II 類

: 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、県内において近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられる種

準絶滅危惧

: 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息・生育状況の推移から見て、「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有すると判断される種

分布特性上重要

: 現在のところ県内でごく普通に見られ、絶滅の危険は低いと考えられるが、その分布の特性から考えて、今後の動向に注意を払っていくべきであると判断される種